

2018/9/5

於 仙台市市民活動サポートセンター
仙台市市民協働事業提案制度
平成29年度 事業報告会



平成29年度 仙台市市民協働事業提案制度

「仙台市内のホームレスの全体把握と 居宅確保後の地域定着に向けた伴走支援」 事業



2018/8/9



特定非営利活動法人 仙台夜まわりグループ

<http://www.yomawari.net>

事業の課題と目標

課題

- (1) 仙台の路上生活者および不安定居住者の総合的な把握
- (2) 脱ホームレス化、脱不安定居住化を促進する。

目標

- (1) ホームレスおよび生活困窮者のアンケート調査：70名の実施
- (2) アンケートを基に、個人カルテを作成。：毎月50名の実施
- (3) 個人カルテを基に、当事者が居宅確保後に、アフターフォロー（生活相談、各種関係機関同行等）を実施することにより、地域生活の安定化をおこなう。：年間70名の実施

事業の実施内容（1）

「夜まわり」および「ネットカフェ長期滞在者」の実態調査」

2017年4月から2018年3月末まで、
毎月、2回の夜まわりとネットカフェ調査を実施。

- (1)市内中心部、郊外の大型店舗駐車場の巡回、
- (2)ネットカフェ外およびネットカフェ内の目視による概数調査

のべ929名の当事者と出会うことができた。
また、ネットカフェ内に、
毎回20人弱の不安定居住者を確認。



事業の実施内容（2）



「相談会」（自立啓発セミナー）を実施。

毎月1回（第一土曜日）に、「相談会」を実施。
アンケート調査を実施し、さらに、その場で、相談をおこなう。

→健康相談、生活相談、今後についての相談など。

12ヶ月で、**のべ448名の当事者が参加。**

- 「相談会」に参加した当事者のうち、
→**65名が路上生活から脱却（うち37名を居宅支援）**
- 8名のネットカフェ滞在者の相談あり。**
→**3名の居宅支援。**
- 4名の車上生活者の相談。**
→**3名の居宅支援をおこなった。**



自立支援セミナー／相談会の様子

事業の内容（3）



アンケート調査の実施

「相談会」および「夜まわり」において、アンケート調査を実施。

健康に関するアンケート、除染作業に関するアンケート、経歴、要望アンケートなど。

155名のアンケート調査を実施。
同時に、個人カルテを作成。



アンケート調査の結果から

- 155名中、97名が新規当事者。
他方、およそ15%の当事者が、長期化。
=二極化
- 44名が、除染作業の経験あり。
- 79名が、体調不良または病気を抱えていた。
- 51名が、多重債務に陥っていた。

うち37名の居宅支援を行い、
アフターフォローを実施。



事業の内容（４）

アフターフォローの実施

（協働事業を実施した2年間が対象者）

- **62名（うち女性9名）のアフターフォロー。**
- 毎月1回の訪問による面談相談。
- 各種機関（福祉事務所、病院、法律事務所等）への同行支援。
 - 各人の課題解決のため、
- **30名の病院同行、16名の多重債務解決のため**
の同行支援、4名の廃車手続き支援、10名の
各種手帳取得手続き支援 など。



社会生活の安定化と地域生活の不安定化要因 病気／怪我／しょうがい

→多くの方が、地域社会で生活の安定化に向かっている。

→26名が課題を解決し、就労自立および社会的自立を果たしました。

他方、課題の解決に時間がかかったり、住宅事情により、自立できないケースも。

精神疾患10名、高血圧7名、糖尿病5名、依存症5名、悪性腫瘍4名、歯痛3名、眼の異常3名、腰痛／ヘルニア4名、脳出血1名、腸閉塞1名、めまい1名、不眠2名、尿蛋白1名、C型肝炎1名、腎臓疾患1名、難病(CMT)1名。

うち、路上脱却後、5名が入院。

入院手続き、入院中のケア、医師の病気説明同行などの支援。

また、複合的に健康問題を抱えるケースが多い。

→安定的な地域生活を阻害。



仙台市担当課との協働

- 保護自立支援課と毎月1回、支援者会議を開催。
→ホームレス、生活困窮者の情報の共有
→脱ホームレス後の生活支援のアドバイス
- 当事者が一人でも多く路上生活から脱却し、安心して地域での社会生活を送ることができるよう、それぞれのアクターが、それぞれの立場から、共通の課題に取り組んでいます。
- セミナーの講師依頼

アンケートおよびアフターフォローから、 見えてきた課題



仙台市のホームレスの動向

表 1年間を通じたホームレスの動向

	男	女	総計 (人)
脱路上	58	7	65
ネットカフェ	2	0	2
入院	2	1	3
不明	55	6	61
路上	21	2	23
死亡	1	0	1
	139	16	155

路上生活者の類型

表 路上期間と路上生活経験の有無の関係

	路上経験なし	路上生活経験あり (仙台市)	路上生活経験あり (仙台市以外)	総計	人
1週間以内	25	0	8	33	
1ヶ月以内	28	4	5	37	
1ヶ月から3ヶ月	2	2	2	6	
3ヶ月から6ヶ月	5	3	3	11	
6ヶ月から1年	1	2	0	3	
1年から3年	3	1	1	5	
3年から5年	0	3	0	3	
5年から10年	1	9	0	10	
10年以上	0	6	0	6	
不明	0	2	0	2	
ネットカフェ	6	2	0	8	
車上生活	4	0	0	4	
知人宅で生活	5	0	0	5	
その他	1	0	0	1	
無回答	16	3	2	21	
総計	97	37	21	155	

新規路上型

再路上型

潜在長期型

長期路上型

不安定居住型

女性ホームレスに対する支援と協働

2018年度の一年間で、**16名の女性ホームレス**と出会いました。
うち、**4名の居宅支援**をおこないました。
→3名がアパートに自立。2名が就労開始。

路上生活を続けている女性は少数なのですが、
女性が、路上に、絶えず陥り続けています。
また、**ネットカフェ等で不安定居住している女性も確認。**
＝女性の貧困→**流動化による潜在化**
女性の貧困（住居喪失）に対して、支援がまだまだ追いついていない。
→女性ホームレスの自立支援のために、民と行政とのさらなる協働が必要。

長期化／再路上の防止

路上生活が短期間の方が「脱路上」している傾向。

他方、仙台市のホームレスおよそ15%が長期化。

また、58名（約40%）が路上経験あり（再路上）。

→**ホームレスの長期化と、再路上化を防ぐ必要**あり。

(1)長期化したホームレスに対しては、多角的で柔軟な支援、

(2)複合的な課題を抱えているホームレスには、長期的な個別の見守り（ケースワーク）が必要。

潜在化されたホームレスの早期発見

ネットカフェで不安定居住生活をしている／していたホームレス：15名。
車上生活者：5名。

現在、ネットカフェ不安定生活をしている者：不特定（20名くらい？）

→潜在化している。SOSが来て、
はじめて顕在化。
いかにして、SOSを探知できるのか。



不安定居住状態を脱却するための支援があることを周知徹底

協働の成果 リーフレット

担当課が、ネットカフェに働きかけ、協働事業で作成した「リーフレット」をネットカフェ店内に設置することに。

後日、ネットカフェから、当法人に相談が寄せられる。
長期滞在している方の「健康状態が心配で、一度、面談してほしい」

ネットカフェ内で、当事者と面談→継続的な支援を約束



今後も、「NPO」、「官」、「市民」、「私」がさらに協働し、ホームレス／貧困問題に取り組む必要があると、を実感しています。

● 目に見えないホームレスの増加

現在、仙台及びその周辺では、路上、ネットカフェ、車上等などを余儀なくされている方が増加しています。不安定な状態で、携帯で明日の仕事の連絡を待つ方々、すぐに連絡してください。

仙台市では、民間と行政とが協働して、ハウジングファースト（まず安定した住まいを定める）を基本にして、それぞれ自立の道を目指すことができるような支援活動に取り組んでいます。まずは、裏面の窓口にご相談ください。

● 東日本大震災とホームレス

福島での除染作業の仕事に就いていた方、震災復興関連で働いてきた方、ひとりで困っている方は、すぐに相談してください。

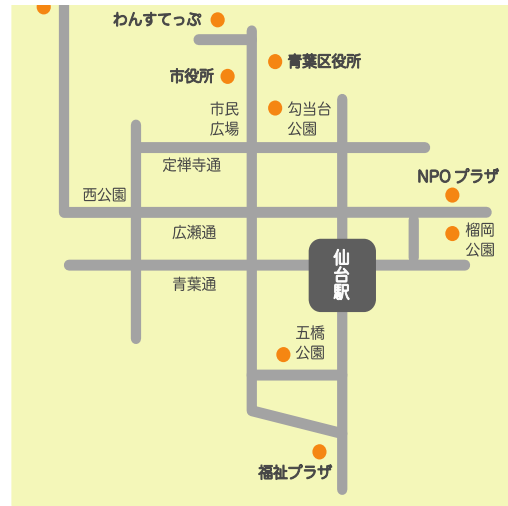
● ホームレスの若年層化

ホームレスの若年層化が進んでいます。明日の見通しが立たず、今の状況を脱したいと悩んでいる方は、今すぐ、相談してください。

● 女性ホームレス

仙台市にも、女性のホームレスがいます。路上には危険がたくさんひそんでいます。すぐに相談してください。

万が一、住む所を失っても、仙台市には支援の網の目がはりめぐらされています。一人で悩まずに、



メモ

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

発行 NPO 法人 仙台夜まわりグループ
監修 仙台市健康福祉局保護自立支援課
協力 仙台協友会

生活・住まい・仕事 のことでお困りの方へ

皆さんは
歩んできた人生はそれぞれ違い
考え方や、いま置かれている状態も
それぞれ違うことでしょう。

でも
今の不安定な生活を続けていくことは難しい
と感じているのではないのでしょうか。

仙台には
皆さんの自立を願い
後援になって支えてくれる団体があります。

安心のできる生活をしたい
と決心したら
区役所・支援団体に
まずは相談してみてください。

仙台市内では民間団体(NPO)・行政が協働して

2年間、ありがとうございました。

仙台市 担当課様、
市民協働推進課様、
審査委員の皆様へ感謝申し上げます。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

特定非営利活動法人仙台夜まわりグループ